

大学図書館問題研究会東京支部 2015/2016年度 臨時総会議案

内容

1. 第1号議案.....	1
1.1. 地域グループ制への移行方針.....	1
1.2. 地域グループ制への移行にあたっての詳細事項.....	1
1.3. 他支部からの編入要望があった場合の対応方針.....	2

1. 第1号議案

1.1. 地域グループ制への移行方針

2016/2017年度から大学図書館問題研究会において予定されている地域グループ制への移行方針について、東京支部においては以下の通り定める。

(1) 東京支部は、現在の支部をそのまま、地域グループへ移行する。

【解説】可能な選択肢は以下の4つ。

- ① 現在の支部をそのまま、地域グループへ移行
- ② 現在の支部より大きな範囲で、地域グループを形成
- ③ 現在の支部より小さな範囲で、地域グループを形成
- ④ 解散

1.2. 地域グループ制への移行にあたっての詳細事項

全国委員会から2016年2月末までに提出を求められている各事項について、以下の通り提出する。

(1) 地域グループ名
東京地域グループ

【解説】全国委員会からは、「地域グループ」という文言をグループ名に必ず入れること、地域が明確にわかる名称であることを求められている。

(2) 代表者

2016/2017年度の総会（2016年7月頃開催予定）において決定します。決定までの間、暫定的に2015/2016年度支部長が代表者を務めます。

(3) グループの概要（300字程度）

東京地域グループは、東京地域を中心に活動を行います。会員相互の交流、会員による発表の場の提供、会員の専門的知識の獲得や専門的スキルの向上、他グループや他組織との交流を目的として、研究企画（講演会、見学会、ワークショップ等の実施）、会員からの寄稿を含むニュースレターの発行、ウェブサイトやメーリングリストの運営等を行います。会員数は100名を超え、東京地域を中心とした大学図書館の職員、図書館に関心のある大学教員・学生や、企業等に属する会員などから成るグループです。総会において地域グループ委員会委員を選出し、その合議によって運営を行います。

(4) グループ会員数

115名（2015年12月1日現在）

【方針】東京支部から東京地域グループ会員への移行は、以下の通りとする。

- ① 2015/2016年度の東京支部会員（2015年12月1日時点で115名）は、原則として全員、東京地域グループ会員に移行するものとします。
- ② ただし、東京地域グループ会員への移行を希望しない東京支部会員は、2016年1月31日までに、東京支部委員会までその旨を連絡してください。

【解説】大学図書館問題研究会会員は、複数の地域グループに所属することもできるし、どの地域グループにも所属しないこともできることになっている。

- (5) グループ活動費
年間1500円とします。

【解説】資料「グループ活動費の考え方」参照。

- (6) 2016/2017年度の活動予定

① 研究企画

以下を目的として、年4回程度の講演や見学会等の企画を実施します。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

② ニュースレター

以下を目的として、年4回程度の発行を目指します。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、ウェブサイト、ニュースレター、メーリングリストを活用します。

④ 組織

全国組織との情報乖離がないよう常任委員会組織担当とも連携を強化します。
財政担当・広報担当とも密接な連携を図り、会員勧誘に努めます。

⑤ 会計

収支バランスの適正化を図ります。

⑥ 地域グループ委員会

月1回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定していきます。

1.3. 他支部からの編入要望があった場合の対応方針

現行の他支部から、東京地域グループへの編入要望があった場合、1.2.の各事項が了承されることを条件として、受け入れるものとする。

以上